

■ 乳児が感染した場合も、通常は発熱、鼻水、咳などの「かぜ症状」が出て、1～2週間で治ります。しかし、悪化すると、細気管支炎や肺炎（咳がひどくなり、ゼーゼーして呼吸が苦しくなる）を引き起こします。

・ はじめてRSウイルスに感染した乳幼児の

約70% → 「かぜ症状」のみ。

約30% → 細気管支炎・肺炎の兆候が見られ、

0.5～2%の乳幼児が呼吸困難などにより入院しています。

■ 早産児は、母から受け取る抗体が少なく、呼吸器の機能が未発達なため、重症化する危険性が高くなります。先天的に呼吸器に病気を持っている乳児も、同様に注意が必要です。

さらに、**生後1ヵ月未満では無呼吸**に注意！

- ・ 呼吸中枢が未熟
- ・ 咽喉頭の分泌物貯留 → 反射による無呼吸
- ・ 増加した分泌物による閉塞

兄弟が「かぜ」をひいていたら、3ヵ月未満の赤ちゃんには近づかないようにすることが大切です。



幼児では「鼻咽頭炎」ですんでも

乳児では「細気管支炎、肺炎」→入院